令和4年度 大木中学校・学校経営改革方針(学校関係者評価表)

【学校教育目標】 「生きる力」を身につけ、未来を切り拓く生徒の育成 【めざす学校像】

生徒と教職員の笑顔が通う学校~すべての生徒が安心して学べる学校~

- 自ら学び、仲間と高めあう生徒 笑顔であいさつする生徒 つながりを大切にする生徒
- 命を大切にする生徒
- 地域を愛する生徒

【めざす教職員像】

【めざす生徒像】

- 授業改善と指導力向上に努める教職員 「想い」を聴ける教職員
- つかがりを大切にする教職員 世に学ぶ教職員

	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
	R4年度 達成方策	R4年度の活動と目標・指標			
1	主体的,対話的で深い学びの実現 (学びあいによる協働的な授業の創 造)	①指導主事や外部講師を招聘しての公開研究授業を各学期1回実施する。 ②「言語活動の向上」をテーマに授業公開週間設定し、すべての教員が公開授業を行い、授業力を向上させる。 ③市内外の授業研究会に積極的に参加(1回以上)し、よりよい指導方法を学ぶ。 ④「授業力UP5」の基づく授業改善を図る。 ⑤全国学力・学習状況調査及びみえスタディチェックの全職員での実施や自校採点からの課題から授業改善を図る。			
確かな学力の定着	基礎学力の定着 ・家庭学習の充実 ・学習支援の充実 ・読書活動の充実	①生活ノートの自主学習スペースを活用し、日々の復習・振り返りに取り組む。 ②家庭と連携し、「学習習慣・生活習慣などのチェックシート」に取り組む。 ③定期考査前の補充学習(2日間)、夏季休業中の補充学習(4回以上)を行う。 ④1、2年生は朝の10分間読書に取り組む。読書週間(2回以上)を実施する。 ⑤一人一台端末の持ち帰りにより、家庭学習の充実を図る。(2学期から日常的に実施) ※全国学力調査の平均正答率 全教科全国平均以上、みえスタディ・チェック正答率 全教科県平均以上 ※学校アンケートで「家庭学習にしっかり取り組んでいる」に肯定的な回答 生徒80%以上(昨年度66.7%)、保護者80%以上(昨年度63.7%) ※学校アンケート「朝の読書以外に読書をしている」に肯定的な回答 生徒65%以上(昨年度52.7%) ※図書貸し出し冊数2000冊以上			
	ICTを活用した授業改善(一人一台パソコンの有効活用)	ICTを活用した授業の改善 ①ICT活用指導力の向上(ICT研修3回以上)に取り組み,授業での有効活用を図る。 ※授業の中で,生徒が端末を使った学習を1日1回以上行う。			
2	考え,議論する道徳の創造	①道徳の公開授業研究会の実施。 ②指導計画の作成と見直し及び取組の進捗状況の確認(月1回以上)。 ※学校アンケート「道徳の授業では,自分の考えを深めたり,仲間と議論したりする活動に取り組んだ」 肯定的な回答92%以上(昨年度90.3%)			
かな心の育成	人権教育の推進	①校区内の小中の連携を密にした人権教育を推進する。(校区人権部会年間5回)。 ②小グループを活用したソーシャルスキルトレーニングやグループエンカウンターによる人間関係作りを行う。(月1回) ③JSLバンドスケールに基づいた生徒への指導や合理的配慮に取り組む。 ※学校アンケート「いじめや差別等の人権問題に真剣に取り組んでいる」"非常にそう思う""そう思う"と回答の生徒70%以上(昨年度65.8%) 保護者30%以上(昨年度18.3%)			

と ³ 体…	食育の充実	①学校栄養教諭との連携したり、昼の放送の活用したりして食への関心を広げる。 ②長期休業中にお弁当の日を設定する。
と体力の育成の原は	保健・健康教育の推進	①ほけんだよりを発行する。(月1回) ②アレルギーや事例研修を実施する。(必要に応じて随時実施)
	基本的な生活習慣の確立	①毎週月曜日,教職員による挨拶運動を行う。 ②学校・学年通信,ホームページなどで,子どもの様子を積極的に保護者に伝える。(HPの更新週3回以上) ③組織的に生徒指導を実施し,家庭や地域,関係機関との連携を図り,生徒支援の充実に努める。 ※学校アンケート「あいさつをしている」で"非常にそう思う"と回答生徒70%以上(昨年度43.8%) 保護者50%以上(昨年度21.8%) ※学校アンケート「あなたの周囲の仲間は,ルール(規則)を守っている」で"非常にそう思う"と回答 生徒70%以上(昨年度36.9%)
4 自律し未来を切り拓く力の育成	特別支援教育の推進	①研修部会や生徒指導部会と連携し、特別支援教育の共通理解を図る。 ②特別支援学級児童生徒の校区連携を図る。(年間6回以上) ③関係専門機関との連携を推進する。 ※必要な生徒に対する個別の支援計画・個別の指導計画の作成及び見直し100% ※学校アンケート「一人ひとりのことを大切に考え指導してくれる」に"非常にそう思う"と回答 生徒70%(昨年度54.5%)
	長期欠席生徒の未然防止と 自立支援の充実	①積極的な家庭訪問による信頼関係づくりや生活習慣改善への働きかけを行う。 ②保護者との連携を密にし、外部機関との連携やSC・SSWの活用を図る。 ③魅力ある授業づくりに取り組むとともに、個に応じた具体的な支援方法(Sクラス, TT, 取り出し等)や合理的配慮を推進する。 ④毎日の生活ノートでのつながりや学期ごとに教育相談を実施する。 ※学校アンケート「先生は何でも快く相談にのってくれる」に"非常にそう思う"と回答 生徒65%(昨年度55.2%) ※学校アンケート「学校は、子どもたちの相談に親身に応じている」に"非常にそう思う"と回答 保護者30%以上(昨年度10.8%) ※長期欠席(30日以上欠席)生徒前年度比-25%以下(昨年度長期欠席29人)
		①「職業調べ」(1年生)「社会人から学ぶ」(2年生)「高校授業体験講座」(3年生)の取組の充実を図る。 ②キャリアパスポートを活用し、自分の生き方について見つめることで系統だったキャリア教育を行う。 ③進路通信、進路説明会、保護者会を通じて様々な情報発信や相談会を行う。 ※ 学校アンケート「進路や職業について適切な情報提供や指導を行っている」に"非常にそう思う"と回答 生徒70%以上(昨年度55.2%) 保護者25%以上(昨年度9.6%)
	部活動の充実	①部活動運営方針に沿った運営を行う。(計画表の配布,活動内容の改善,週2日以上の休日など) ②すべての部活動で保護者会を実施し、メール配信も積極的に利用する。 ③外部指導員(学校支援ボランティア)を活かした部活動を図る。 ※学校アンケート「部活動に積極的に参加している」に"非常にそう思う"と回答 生徒 70%以上(昨年度59.3%) 保護者 70%以上(昨年度39.9%) ※大木中学校部活動運営方針に基づいた休養日の遵守(100%)
	生徒会活動の充実	①生徒会通信の発行(月1回)や生徒会集会を行うことにより、生徒会活動と学級との連携を図る。 ②生徒会を中心とした校則の見直しや学校行事の充実を図る。 ※学校アンケート「生徒会の委員会活動や学校行事に積極的に取り組んでいる」に"非常にそう思う"と回答 生徒70%以上(昨年度55%)

5 安全で安心な学校づくり	いじめを許さない学校づくり	①全教職員がいじめを許さない学校づくりへの当事者としての自覚を深め、早期発見や早期対応に尽力する。 ②人権教育に関する校区小学校との連携を深める。(校区人権部会3回以上) ③生徒会が中心となり、生徒が主体的にいじめ問題について考え、いじめ防止に向けた取組を行う。 ④毎日の生活ノート、定期的なアンケートや教育相談を実施し、生徒がいじめを訴えやすい体制を整える。 ※いじめアンケートの実施(年3回)及び認知事案についての保護者連絡(100%)
	交通安全教育の推進	①地域・PTAと連携した交通安全指導を実施する。(年間9回,交通委員会は毎週) ②交通安全教室の実施や全校集会での啓発を行う。 ※学校アンケート「交通ルールやマナーを守っている」に"非常にそう思う""どちらかといえばそう思う"と回答した生徒95%以上(昨年度95.9%) ※生徒交通事故発生件数0件(昨年度5件)
	防災教育の推進	①避難訓練を毎学期(年4回)実施する。 ②防災カルテ等の作成,年間計画や避難行動等のマニュアルの見直しを行う。 ③震災を教訓にした防災教育を行う。 ④校区小学校と連携した津波避難訓練(1年生)を実施する。 ※学校アンケート「災害危機管理について,保護者・地域との連携を図っている」 に"非常にそう思う"と回答の保護者35%以上(昨年度7.4%)
	施設・設備点検の徹底	①施設,設備の安全点検を, 毎学期実施する。(年3回)
6 開かれた学校づくり	コミュニティースクールの推進	①全教職員の参加(9月), 校区合同学校運営協議会の開催(11月)する。 ②家庭学習について協議し、学校、家庭、地域が連携して家庭学習充実に向けた取組を実施する。 ③地域人材による支援など、校区の地域づくり協議会との連携を図る。 ④学校支援ボランティアの充実 登録人数30名以上(昨年度28名) ※コミュニティ・スクール推進アンケート「協働型」との回答50%
	地域づくり協議会との連携強化	①授業参観や学校行事等を積極的に公開し,保護者・地域の方が参加しやすい状況をつくる。 ②ホームページを活かして学校や生徒の様子を発信する。 ※学校アンケート「保護者・地域との連携を積極的に図っている」に"非常にそう思う"と回答 保護者40%以上(昨年度11.6%) ※学校アンケート「地域行事やボランティア活動に参加した」に肯定的な回答 生徒50%以上(昨年度39.7%) ※学校アンケート「通信やプリントを保護者にきちんと渡している」に"非常にそう思う"と回答 生徒50%以上(昨年度41.0%)
	校区小学校との協働	①校区校長会(年6回)を開催し,小中の連携強化を図る。 ②中学校英語教員が小学校の外国語授業に参加する。 ③校区の公開授業,校区交流会への参加(1人1回以上) ④校区合同メディアコントロール週間の実施(年2回以上)

7 働きやすい環境づくり	総勤務時間の縮減	①45時間以上の過重労働者0名(昨年度のべ81名)年間過重労働時間360時間以上0名(月平均30時間以下 昨年度10/29名) ②定時退校日の設定 月2日以上で80%以上の退校する。(昨年度45.5%) ③放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 60%以上(昨年度26.3%) ④留守番電話の実施
	ワークライフバランスの啓発	① 休暇の取得促進 特休及び年休の合計取得 20日以上(昨年度10.6日) ② 夏季休暇の完全取得(4.3日/5日 86%)
	■ 個別囬談を遡しに	①中間面談の完全実施(昨年度100%),開かれた校長室の推進 ②働き方改革についての研修の実施
		①校務用ICT機器の有効利用, 教材の共有化の推進 ②職員室内の整理整頓 (年3回)